

全棟高性能保証表示システム「CQ24」
9年間を振り返って

1999年3月、「次世代省エネルギー基準」が告示されるやいなや、住宅業界では「断熱性」「気密性」という言葉が話題に上るようになりました。冷暖房を前提とした住居にとって、省エネルギーな暮らしの鍵となるのは断熱・気密性能である——国（通産省・建設省）がそれまでの基準に比べてQ値（熱損失係数）断熱性能を表す数値」とC値（相当隙間面積）気密性能を表す数値）を大幅に見直したのです。

25年前、北海道に建てられた実験棟での換気回数測定。その数年後、発売されたばかりの気密測定器を購入（当時、高級車が一台買える程、高価な機器でした）、以来モデルハウスなどを利用しながら、気密測定を行い、貴重なデータを蓄積していきま

「そんなことが出来るだろうか」「夢のような話だ」
次世代省エネルギー基準で強化されたC値の基準。しかし、実際にその数値をクリアできる住宅は多くありませんでした。クリアしなくても罰則はなく、クリアしたとしても何の優遇措置もない。多くのハウスメーカーは机上の計算によってC値基準をクリアする新商品を一旦は発表しましたが、高額だったために積極的な販売はせず、普及もなかったというのが現状です。また、自社のモデルハウスのC値を測定し、「うちの住宅の気密性

はこのくらいです」と提示するだけのメーカーも多く、間取りや施工精度で大きく変わるC値の扱いとして、適切でない表現も増えてきました。しかし、スウェーデンハウスでは、基準を満たすための新商品開発などしません。普通の施工で充分に基準値をクリアできるということは、長年蓄積されたデータが物語っていたからです。

全てのスウェーデンハウスが 快適であるために

今を遡ること9年前、全棟高性能保証表示システム「CQ24」が誕生し、全棟でお引渡し前のC値測定が開始されました。当初は「無謀」とまで言われたこのプロジェクトが実現し、今日まで継続してこられた背景には、社員たちの熱い想いと、それを理解し、評価してくださった多くのお客様の、貴重なサポートがありました。

「施工精度が上がります、やりましょう」「

しかし2週間後、状況は一変しました。当時の社長（羽山定克）が「全棟気密測定を前向きに考えよう」という方針を打ち出したのです。関係各部署からは猛然と反対の声が上がりましたが、「施工精度が上がるはず」という当時の工事部長の一言が反対派を一蹴し、より良い家づくりと、お客様の快適のために、プロジェクトはスタートしました。

気密測定器を支社・支店の数だけ購入し、多くの社員が気密測定士の試験を受けました。そして実際に手を動かす職人さんや電気・水道業者さんに対しては、実際に現場で気密測定をしながら、隙間風が入ってきたりしやすい場所をチェックしてもらい、施工のポイントを再確認してもらい——みんなよく頑張ったと思います。これだけ常に良いC値が出ているのですからね」と振り返るのは当時の開発部の担当者。「いくつかのお宅でC値の経年変化データもとっています。5年経っても、9年経っても、竣工時とほとんど変化が見られません。想定内ではありましたが、実際の数値を見ると、改めてすごいことだと思います」。

お客様のご理解と 評価が、何よりの励み。

「最初は無謀な話だと思いましたが、しかし、施工精度を上げることは私たちでも望むところでしたし、蓄積データから『普通』にやっていたら良いC値が出る」という自信もありました。まずは

こうして、スウェーデンハウスの全棟高性能保証表示システム「CQ24」は立ち上がりました。モデルハウスの測定値を全ての住宅に当てはめるのではなく、一



1 全棟気密測定導入前の研修風景。

2 北海道スウェーデンヒルズにある実験棟。ここでさまざまな実験が行われました。

3 1999年、「CQ24」発表時の全30段新聞広告（日経・朝日・読売・河北・中日）。発表時には、大きな話題となりました。

4 全てのお客様に測定したC値をお知らせする、C値測定報告書。

5 現在の気密測定器。今では気密測定士一人で測定できるようになりました。



棟ごとにきちんと性能を確認し、お引渡しをする。当たり前のように、誰もやろうとしなかったこのシステムを、スウェーデンハウスは日本で初めて実現させました。結果、社員や現場のモチベーションは上昇し、「良い家を作っているのだ」というプライドを生み出した。そしてこの姿勢を理解し、評価してくださったお客様に支えられ、次世代に誇れる高気密・高断熱の家を建て続けることができました。お客様からいただく「とても快適です」という言葉で、私たちはこの取り組みが意味あることだと再確認することができま。誌面を借りて、厚く御礼を申し上げます。今後も気を緩めることなく、一棟一棟気持ちを新たに、測定を続けて参ります。そして、「CQ24」をベースに、本当に快適な住宅を皆様にお届けできるよう、努力を続けて参りたいと思います。